

ボンマックスのマスクプロジェクト

## 「クレンゼ」加工を採用

顔も  
小向け

ユニフォーム総合アパレルのボンマックスは、ボンマスクプロジェクトの一環で、新たにクラボウの抗菌・抗ウイルス機能繊維加工技術「クレンゼ」を活用したマスクを販売中だ。

同社として初めてクレンゼ加工を採用し、女性用の「小顔マスク」と、5色展開の男女兼用マスクの2種類を企画。高い抗菌・抗ウイルス機能、小顔効果など消費者ニーズに応えた商品の提案で、競合の多いマスク市場で売り上げ拡大を目指す。

9月から取り組んでいる秋冬向けマスクの製品化プロジェクトでは、再帰反射材を部分使用した「光るマスクカバー」、温かいフリースマスクなどを販売。今回は、加工した繊維上の特定のウイルスの数を99%減少

させ、特定の細菌の増殖を抑える機能があるクレンゼ加工を採用。家庭で50回洗濯した後も効果が持続し、各種試験で安全性が認められた商品として打ち出す。

小顔マスクは立体的なパターンで、フェイスラインをすっきり見せる効果が期待できる女性用商品。ポリエステル製で裏地にクレンゼ加工を採用し、サイズはM、ピンクと紺、ベージュ、グレーの4色で構成する。一方、男女兼用のクレンゼマスクは国産で、綿100%の表地にクレンゼ加工を採用。メッシュの裏地はポリエステル製で、M、Lの2サイズ、黒、白、グレーにカーキ、オフ白の5色。11月下旬、12月中旬に順次、出荷を始める。